

コース最高点 780m+ α	無名峰 721m	美山町知見	ポンポン山雑感
地形図「久坂」	2017年4月17日	三鍋敏郎	

昨年の晩秋に登ったタケガダン 743mの東側対岸に穏やかな稜線が見えた。それが冬枯れの美しいブナ林帯の尾根であることは一目瞭然であった。

以前に八原集落からピーク 524mを経てピーク 652mから国境尾根 770mに取付き時計回りに八ヶ峰に登った事があった。本日は大島谷川から 770mに取付き西側の稜線を歩くことになる。

当日は午後から天気は崩れる予報なので歩行時間を短く設定した。美山町知見にある大島谷川沿いの林道を暫く走り、地形図の等高線に 400 と表記された地点、大島谷川の支流出合に車を停めた。谷沿いに北東の方向に林道がある。それを少し歩き右手の尾根に取付く。斜面には植林されたばかりの桧林がある。しかし、支尾根の東斜面には自然林が残されているので妨獣ネットを出て自然林を選んで歩く。シハイスミレやクロモジ、マンサクなどの花が咲いている。マンサクの開花が今年随分遅い。妨獣ネットが終わると、やがてブナ林に変わってきた。見下ろす北斜面や集水域には残雪が多く残る。4月の中旬だというのに京都北山では珍しい。

標高 650m 辺りで穏やかな尾根になるとブナ林が一際美しくなる。芽吹き前の赤みを帯びた梢が虹色に輝いている。知井坂からの国境稜線に合流すると風が急に強くなる。遙かな若狭の海が青く見える。予想通り尾根は穏やかで隆起が少なく歩きやすく快適。

目的の標高 780m は何の変哲もないただの膨らみ。山頂付近から北東に大きな尾根が伸び、その先端に 745m のピークがある。山頂から西に向かい振り返ると北斜面の標高 700m の等高線沿いに林道がつけられているのが見え残雪がある。780m を過ぎ、次のピークの中ほどからほぼ直角に国境尾根の方向が変わる。稜線が西に延びているので下降点に注意。広い尾根を南に下るとやせ尾根になるが、再び広い尾根に変わる。

標高 721m は穏やかなブナ林の台地状の山頂である。風を避けて昼食タイム。先ほどから湿度を増した風が強くなり、雨の気配濃厚。下山予定の 2 つ先のピークまで進まず、本日は現地点の 721m の南尾根を下る事にする。地形図を見る限りは何とか歩けそう。721m の同定は山頂直下にある小さな谷。水牛の角状に反った谷筋が目印。早春の野草が芽吹くのが想像できる美しい谷間である。山頂直下の斜面は、思った以上に岩場が多く意外と手古摺る。しかし、この厳しい斜面でも耐えて咲き誇るスミレの花に敬意。(雨具を着けてこの斜面を下るのは危険、自殺行為)

林道が近づくと谷間には様々な野草が咲いていた。ネコノメソウやチャルメルソウ、ミヤマカタバミ。エンゴサク、イチリンソウの若葉。

ポツポツと雨粒が落ちはじめるが雨具をつける事もなく登山口に置いた車が近くに見えた。

(下山コースは 721m P から西に二つ目の P 700m 峰から南に延びる尾根から下るのが安全)

★コース 大島谷川 9:00～国境尾根 10:10～780m 10:20～721m 11:20 発 11:45～林道 12:45～
登山口 12:50

★メンバー 三鍋、他 1 名